

# 「中新世の日本近海における 海棲哺乳類の多様性」

樽 創（神奈川県立生命の星・地球博物館）  
田中嘉寛（札幌市博物館活動センター）  
木村敏之（群馬県立自然史博物館）

今から約2000万年～約500万年の間、日本は大陸の一部だったものが大陸から離れ、日本海が開き海洋環境の大きな変動が起きました。この新生代新第三紀中新世という時代は、加速度的に多くの海棲哺乳類に関する研究が出版されるようになり、それに伴いそれまで知られていなかった新たな分類群の発見や系統関係の見直しなども行われています。そこで、各分類群に深く関わる方々により、各分類群について可能な限り現時点での最新の知見を紹介するとともに、その多様性を議論します。

## 発表

1995年以來の、ヒゲクジラ類化石研究の進展  
田中嘉寛（札幌市博物館活動センター）

1995年以來の、ハクジラ類化石研究の進展  
木村敏之（群馬県立自然史博物館）

日本における鰭脚類研究と中新世という時代  
甲能直樹（国立科学博物館）

日本における束柱類研究と中新世日本海  
川谷文子（飯田市美術博物館）

日本産海牛化石の産出状況と課題  
長澤一雄（元山形県立博物館）

日時：2026年5月16日（土）13:00～16:25

会場：神奈川県立生命の星・地球博物館 講義室

参加：どなたでも